

チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第52号平成23年11月23日
広島市立五日市南中学校
〒731-5135 佐伯区海老園4-2-21
TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

校長室だより

座右の銘は、『直心（じきしん）是（これ）道場（どうじょう）』
素直（すなお）な心は、稽古（けいこ）と同じくらいの価値
があるという意味だ。

一瞬のやりとりを楽しみながら『技と心』を成長させる。
～剣士藤原崇郎（全日本剣道連盟大将に選出）言葉～

本年度、キャリア教育の一環として校長面接を3年生（12月）だけでなく、2年生（6月）と1年生（11月）も行っています。その時に、思ったこと感じたことを少し書いてみます。

「毎年、3年生は12月に『社会（地域・国際）への貢献』から将来の夢を、自分たちの汗と努力することを交えながら語ってもらっています。

2年生は6月に『私のチャレンジ』と題して今までに自分の頑張ってきたことこれから先頑張っていくことを語ってもらいました。

1年生も11月、今、『夢への第一歩』と題して語ってもらっています。



3年生は12月の面談時、毎年素晴らしく義務教育修了時15歳の姿として立派に成長をしていることを感じます。努力して『素直に心』を成長させていっていると思います。

2年生は、3年生ほどの社会や将来を見据えた『視野』のひろさや『素直な心』の磨きは、まだまだだなと感じました。ただ、将来に対しての具体的な努力が見えてきていました。

1年生は、社会や将来を見据えた『視野』を少し持ち始めていた生徒もいました。『素直な心』も磨き始めていた生徒もいました。

みなさんへ

先週から今日までとても楽しかったです。ステキな時間でした。

とても早く終わってしまいました。今日が最後の日です。

みなさん親切にしてくれてありがとうございます。私があからぬ事を

沢山教えてくれました。私はドイツに帰ります。

私は高木を卒業したら、また日本に来たいです。

そのために、日本語をもっと勉強します。

今回私は、日本の文化、言葉、食事、習慣、学外生活など沢山学びました。

本当にありがとうございました。

マーズン

ラインホルトより

面接の中で、挨拶（あいさつ）の『挨（あい）』という漢字も、『拶（さ

つ)』という漢字も、ともに『心を開く』という意味を含んでいます。心を開くことは、とても難しいから、何度でも挨拶をしていくのです。授業も部活動も掃除も何度も繰り返して行い、『技と心』をていねいに努力して磨いていくのです、と話したり・・・。』

水墨画作品集 ～山本清月～

先日、地域の方が学校を訪ねてこられました。93歳で亡くなられたお母さんの水墨画が生徒に役立てばありがたいですと持ってこられました。その水墨画は、墨を使い白い部分を残し水の流れやしぶきを表していました。また、木々の間の木漏れ日を表していました。その水墨画にしばらく見とれていました。心も落ち着き、不思議な静寂を感じました。

10月の文化祭の時に、地域の方や保護者の方が多く出品して頂いたときも、同じような静寂さを感じました。その中に生徒の作品も混じり引き立ててもらっていた感覚でした。

ワークショップ【事前申込制】

定員：①(各回)②ともに20名・対象：小学生以上
会場：地下1階講堂

①12月11日[日] 9:30～、11:00～、13:00～、14:30～

「広島の木でオリジナル・マイ・箸を作ってみよう」

参加料：無料 協力：広島県木材青年経営者協議会

②12月23日[祝・金] 14:00～

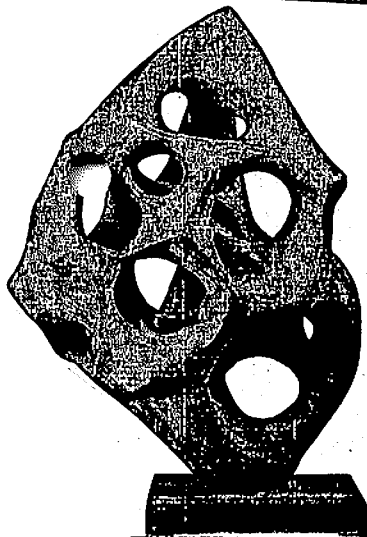
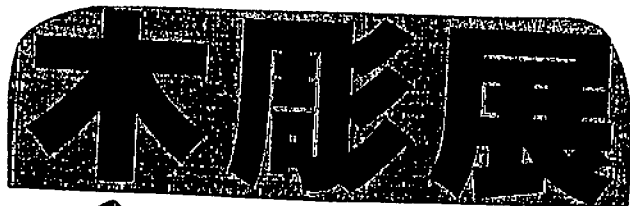
「木が鳴る木!？」キーホルダーの笛づくり

講師：三樹明子(彫刻家)

参加料：100円(特別展入館券の半券をご提示ください)

【申込方法】

ツアー①(散策ツアー)は、10/25～11/3まで電話で申込受付(先着順)。ツアー②は11/24、ワークショップ①は12/1、ワークショップ②は12/13までに往復はがきにて広島県立美術館(木彫展イベント担当)までお申し込みください(必着)。その際、往復はがきにツアー又はワークショップの番号と参加希望時間、住所、氏名、年齢、電話番号、返信用はがきに返送先を記入してください。希望多数の場合は抽選とさせていただきます。



さて、お母さんが水墨画を始められたのは、60歳からだったそうです。『母は歳を重ねるごとに、きれいになりました。それは、水墨画へ挑戦する情熱の表れであったのだと思います。90歳を過ぎても大作に挑み続けていました・・・』

図書館において、この作品を生徒にも見せると約束をしていたのに、私がまだ鑑賞したくて校長室に置いたままです。

興味があつたり、心休まらないときは、校長室に置いてありますから見に寄ってください。もうしばらく手元に置いておきたいと思います。

卒業生のたより

おひさまパン工房 野村 直

宮島でパンを通じて絆づくり、地域づくりを頑張っています。これからもよろしく願い申し上げます。

10月のバザーで学校がお世話になりました。